



松山市における 子規・漱石生誕150年記念の取り組み



【趣 旨】

「松山から世界へ そして未来へ」をテーマに、子規と漱石の「出会い」「友情」「別れ」「功績」の紹介を軸とした事業を実施します。

子規と漱石が松山で俳句作りに熱中したこと、漱石が子規との別れを惜しみながらロンドンへ留学し世界を体験したこと、現代に通じる文学をのこしたことなど、等身大の二人にスポットをあてたエピソードを効果的に盛り込み、松山ならではのストーリー性を持った事業を計画しています。

生誕150年の大きな節目に、日本を代表する二人の文豪が松山でともに暮らし、俳句をはじめとする文学の革新と創造を志したことを、市民の皆さんに実感していただき、松山に一層の愛着や誇りを持ってもらいたいと思います。また、全国から訪れる方々にも、松山であるからこそ体感することができる二人の足跡に触れ、俳句やことばでまちづくりを進める本市の魅力を感じてもらいたいと考えています。

【これまでの発表内容】

子規・漱石生誕150年をPRする取り組みとして、昨年7月にロゴマークを制作しました。一般の方にもご利用いただける形で申請を受け付けており、これまで出版物や旅行商品への掲載など、20件以上の申請をいただいております。また、松山市のホームページ内に特設ページを開設したほか、市役所での庁内放送や市民課等の窓口職員が記念のバッジを着用するなど、機運の醸成を図っています。

記念事業としては、まず漱石の誕生日である2月9日から3日間、坂の上の雲ミュージアムでナイトミュージアムを開催します。また4月には、子規記念博物館の常設展示室を一部リニューアルしてオープンするほか、子規・漱石そして二人と同じく生誕150年を迎える柳原極堂（子規の親友・松山市名誉市民）の足跡をたどる特別企画展を開催します。さらに、子規の誕生月である10月に子規・漱石・極堂を顕彰する記念式典を行う予定です。

加えて、これまで行ってきた文化事業も内容を拡充します。現在募集を行っている第15回坊っちゃん文学賞では、新たにショートショート部門を設け、第20回俳句甲子園は全国大会出場チームを4チーム増加するほか、会場に子規・漱石生誕150年の記念ブースを設けます。また、俳句と市内観光が体験できる「松山はいく」や、写真と俳句を組み合わせた作品を募集する「瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト」は、「International Photo-Haiku Festival」（仮称）と題し、国内外の皆さんに広くご参加いただける企画として開催します。

この他にも、新年度から実施予定の様々な記念事業の準備を進めています。

【新たな取り組みとして】

子規・漱石生誕150年の節目に、二人の友情や功績、文学作品などを多くの皆さんに知っていただくため、企業・団体の皆さんと記念の年を盛り上げ、ともに取り組みを進めていくための「子規・漱石を未来へつなごうプロジェクト」を実施します。

夏目漱石の生誕150年の日である2月9日から、別紙のとおり募集を受け付けます。子規・漱石を松山から世界へ、そして未来へつなげるための活動に、ぜひご参加いただければと思います。